

石油ガスの流通合理化及び取引の適正化等に関する 支援事業費 平成30年度予算額 8.0億円（9.0億円）

事業の内容

事業目的・概要

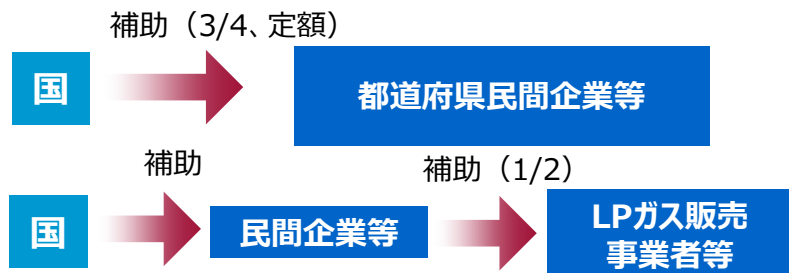
- LPガスに関する消費者トラブルに対応し、取引の適正化を図るとともに、LPガスの安定供給体制を確保するため、各都道府県の民間企業等が行う消費者相談や防災体制の整備に対する支援を行います。
- LPガス販売事業者の経営基盤を強化するため、LPガスの料金透明化や流通構造を合理化するための取組みに対する支援を行います。

成果目標

- 各都道府県に設置された相談窓口寄せられるLPガスに関する消費者トラブルの相談件数の削減や防災訓練の着実な実施、集中監視システム（※）を毎年度約5万件設置を目指します。

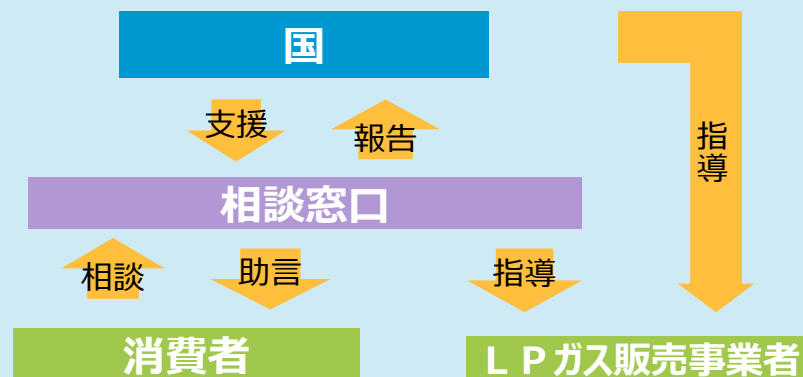
※ 各家庭のガスメーターに無線機を設置し、LPガス使用量の把握やガス漏れ検知、ガス栓操作を遠隔で行うことができるシステム。これにより、安全性の向上や配送・検針業務の合理化・効率化が可能となる。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（1）販売事業者指導支援事業



（2）LPガス地域防災対応体制整備支援事業



（3）構造改善推進事業

- LPガスの使用状況を可視化するための「見える化システム」の導入やLPガスの安全性向上等のための「集中監視システム」の整備など、LPガス販売事業者の構造改善のための事業を行う。